Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格				
定格	使用温度範囲	−40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	−40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)
	電力	── W	特性ｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽ	５０Ω (０ ～ ６ GHz)
	特殊性	──	適合ケーブル	──

性能

	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		―	―
電気的性能	接触抵抗	mA (DC OR 1000 Hz)以下で測定する。	中心ｺﾝﾀｸﾄ mΩ以下	―	―
			外部ｺﾝﾀｸﾄ mΩ以下	―	―
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	５００ MΩ以上	○	―
	耐電圧	AC 250Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	―
	電圧定在波比	周波数 0.045 ～ ６ GHzにて測定する。	ＶＳＷＲ １．２ 以下	○	○
	挿入損失	周波数 ～ GHzにて測定する。	ｄＢ以下	―	―
機械的性能	単体挿抜力 (HRM側)	$\phi 0.91^{+0.005}_{0}$ の鋼製ピンで測定する。	差込力 Ｎ以下	―	―
			引抜力 １．５ Ｎ以上	○	○
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 Ｎ以下	―	―
			引抜力 Ｎ以上	―	―
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。(HRM側) 10000 回の抜き差しを行う。(W.FL側)	① W.FL側可動ﾋﾟﾝの動作が正常であること。 ② 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	―
	耐振性	周波数 ～ Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 m/s^2 で 軸方向各 サイクル 試験する。	① １ μs以上の電気的瞬断がないこと。 ② 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	―	―
	耐衝撃性	加速度 m/s^2, 持続時間 ms, 正弦半波 軸方向各 回試験する。		―	―
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ｹｰﾌﾞﾙの抜けや断線等のないこと。 ② ｸﾗﾝﾌﾟ部の破損がないこと。	―	―
環境的性能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 ～ ℃,湿度 ～ %中に サイクル(時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上(乾燥時) ③ 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	―	―
	温度サイクル	温度 → → → ℃ 時間 → → → 分 を サイクル試験する。	破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	―	―
	塩水噴霧	濃度 ５ %の塩水, ４８ 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	―

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					

備考
社内用。 RoHS指令適合品。

試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。

承認	IJ.MITANI	05.08.10
検図	KY.SHIMIZU	05.08.10
担当	NK.NINOMIYA	05.08.03
製図	NK.NINOMIYA	05.08.03

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目

HRS	製品規格表	図番	SLC4-310456-00
		製品名	HRMJ-W.FLP-ST3
	ヒロセ電機株式会社	製品ｺｰﾄﾞ	CL311-0408-9-00 0△ 1/